■高温用放熱管組込型

H：60mm フィン放熱管組込型
KAGH 型

HT：60mm パイプ型放熱管組込型
KAGHTF2 型

HK：スパイラル型放熱管組込型
KAGHK 型

指示部・接液部は
各種組合せ可能です。

- 高温測定流体が計器部分と指示精度に及ぼす悪影響から保護する為に、放熱管を組込みます。
- 放熱管の種類は使用最高温度と圧力範囲及び、受圧部の膜径により選定します。
- 封入液は高温に対する膨張系数の少ないシリコン液を主に使用しています。

■放熱管組合せ使用最高温度表(例)

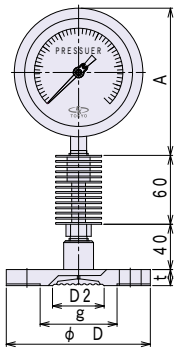
●JIS10K15A·20A

圧力範囲	無し	H·HT型	HK型
0.3MPa	60℃	80℃	90℃
0.5MPa	80℃	100℃	120℃
1.0MPa	100℃	120℃	140℃
2.5MPa	100℃	120℃	160℃
4.0MPa	100℃	140℃	180℃

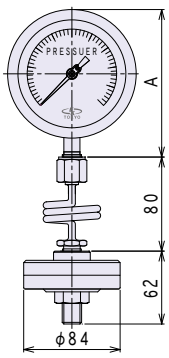
●JIS10K25A·KAG型

無し	H·HT型	HK型
80℃	120℃	120℃
100℃	140℃	150℃
100℃	140℃	160℃
100℃	140℃	160℃
100℃	160℃	180℃

その他の条件はお問い合わせください。
高温用はパッキンの材質にご注意ください。



H：60mm フィン放熱管組込型



HK：スパイラル型放熱管組込型

- When measuring high temperature fluids, there is a danger of adverse effects on the internal parts of the gauge or on the indicator system. To protect the gauge from such effects, heat-dissipation piping is built in.
- The type of heat-dissipation piping is selected based on the maximum temperature used, pressure range and diameter of the pressure-receiver diaphragm.
- For the enclosed liquid, primarily liquid silicon is used because it has a low expansion coefficient.

■隔測リード線型

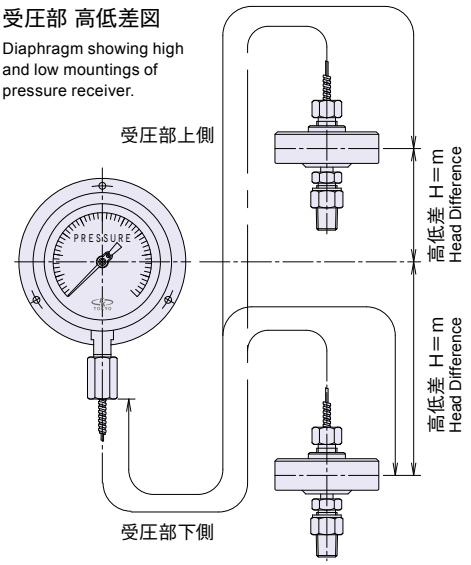
壁掛型
KBGLF2

パネル埋込型
KDBGL

指示部・接液部は各種組合せ可能です。

- 測定しにくい場所の取付けや、指示部を１ヶ所に集中管理する場合に便利です。
- 封入液の比重により指示部と受圧部の取付け位置の高低差（H）から生ずる指示誤差を防ぐため、ご注文の際に右図の受圧部分が上側または下側のご指示と距離数をご指示ください。製作時調整して出荷します。
- 取付け後にゼロ調整も可能です。(但し各種接点付を除く)

受圧部 高低差図
Diaphragm showing high and low mountings of pressure receiver.



受圧部 高低差をご指示ください。